



にゅうがく しんきゅう
入学・進級おめでとうございます。

59名の^{めい}新入生^{しんにゅうせい}を^{ともだち}友達に^{むか}迎え、^{しんがっき}新学期がスタートしました。子どもたちは、^{にゅうがく}入学や^{しんきゅう}進級の^{よろこ}喜びを
^{かん}感じながら^{とうこう}登校しています。中には、^{なか}新しい^{あた}学級に^{がっきゅう}馴染めるかな、^な勉強は^{べんきょう}大丈夫かななど^{だいじょうぶ}不安を抱えてい
^る子もいます。子どもたちが、^{あんしん}安心して^{せい}生活ができるよう^{かてい}家庭、^{がっこう}学校、^{ちいき}地域が^{ちから}力を^あ合わせていきたいと
^{かんが}考えています。^{きょうりょく}ご協力^{ねが}よろしく^{ねが}お願いいたします。

★**「家庭人権学習の日」をお子さんと楽しく過ごしましょう!**

^{こんねんど}今年度も、^{まいつきだいいちにちようび}毎月第一日曜日^{かていじんけんがくしゅう}の「家庭人権学習の日」を、^{かてい}ご家庭で^こお子さん
^{たの}と^す楽しく^{おも}過ごしてほしい^{さくねんど}と思います。昨年度は、^{がくねん}学年や^{かてい}家庭で^{くふう}工夫した^{とく}取り組



^{かんが}みを^{かんが}考えて^{たの}いただき^{じかん}楽しい^す時間を^{かぞく}過ごせた^{きかい}ようです。家族で^{たいせつ}ふれあう^こ機会を^{いっしょ}大切に^こし、^{いっしょ}お子さんと^{いっしょ}一緒に
^{あたた}温かい^{じかん}時間^すをお^{まいつきだいいちにちようび}過ごし^{まえ}ください。毎月第一日曜日^{かていじんけんがくしゅう}の前に「家庭人権学習の日 ^ひ振り返り^ふカード」^も持って
^{かえ}帰ります。どんな^かことを^{かんそう}したのか^かを書き、^{きょうりょく}感想も^{ねが}お書き^{ねが}ください。ご協力^{ねが}よろしく^{ねが}お願いいたします。

^{がつ}5月と^{がつ}10月は、^{ぜんこうおな}全校^{かていどくしょ}同じで「家庭読書の日」と^ひします。子どもにとって^こ読書^{どくしょ}活動^{かつどう}とは、^{ことば}言葉^{まな}を^{かんせい}学び、^{かんせい}感性
^{みが}を^{ひょうげんりょく}磨き、^{たか}表現力^{たか}を^{そうぞうりょく}高め、^{ゆた}想像力^{ゆた}を^{たいせつ}豊かに^{たいせつ}するために^{たいせつ}大切な^{かてい}ものです。そこで、^{いっしょ}ご家庭で^{どくしょ}一緒に^{どくしょ}読書^{どくしょ}をする



^{すこ}ことで、^こ少しずつ^こでも^{どくしょしゅうかん}子どもたちの^{つちか}読書習慣^{つちか}を^{ていがくねん}培う^{ていがくねん}ことができます。低学年の
^こお子さん^よであれば^よ読み^き聞かせ^{こうがくねん}もいい^こですね。高学年のお子さんとは、それぞれ
^{ちが}違う^{ほん}本^よを読んで^{かんそう}感想^いを^あ言い^こ合^よったり、^{ほん}お子さん^{はな}が^{はな}読^{はな}んだ^{はな}本^{はな}について^{はな}話^{はな}してもらっ
^{たの}たりして^{たの}楽しんで^{おも}いただけ^{おも}たら^{おも}と思います。

★教科書はなぜただなの？

小学校に入学しても、学年が上がっても、「教科書代」は必要ありません。毎年人権通信でお知らせしていますが、小・中学校の「教科書代」がいなくなったのには、人権教育が大きくかかわっています。

昭和30年頃教科書を買うお金がなく、教育を受けたくても受けることができない子どもたちがたくさんいました。高知県で部落差別と闘っていた地域のお母さんたちは、毎晩集まって日本国憲法について勉強しながら、「教科書をただにする会」をつくり、市や県と交渉を重ねました。

この運動は多くの市民の心を動かし、全国へと広がっていきました。その結果、1963年12月教科書を無償にする法律がつけられました。人権問題を解決するための運動が、すべての人の権利を守り、生活を高めていくことになった素晴らしい例です。教科書を大切に、一生懸命勉強することが大事だということをご家庭でもお子さんにお話してください。このことは教科書だけに限らず、物を大切に扱うことや自分や友達の人権を大切にすることにつながっています。



子どもたちがわかるように、
学校の人権コーナーに 掲示
しています。